

Pronunciation Capsules

[revised]

Tadao Murata / Toshiyuki Tabata

はしがき

本書は、英語の発音を学習する人の簡潔な教科書となるよう、音声教材もCDで2枚、添付しています。1枚のCDは、アメリカ人女性が吹き込み、もう1枚のCDはイギリス人男性の吹き込みで、それぞれ教科書の順序通りに全ての教材が録音されています。CDのトラック番号と教科書の章番号は、一致させてあります。

「国際英語」という概念が、特に日本の英語学習者には有用であるという議論があります。世界各地で使用されている英語の発音は実に多様ですが、我々がモデルにしたい発音は、特定の方言にとらわれることなく、歯切れのいい、誰にも理解されやすい明確な発音を習得すればいいのです。2枚のCDを比較しながら学習すれば、それぞれの相違よりも、むしろ英米の共通点に気づくことが多いと思います。

いずれにしろ、英語のクラスで副教材として使用できる「簡潔さ」を失わず、しかも専門用語ができるだけ避けて、日本人に困難な点についてはわかりやすい説明を心がけました。特に、同じ発音記号でありながら、生ずる位置によってかなり異なる音声になるものは、項目を分けて練習できるようにしてあります。

なお、本書作成にあたっては、多くの音声学関係書から学んだ事柄が取り込まれており、とても出典は挙げきれません。D. Jones, A.C. Gimson, E. Henderson, J.C. Wells, J.C. Catford, P. Roach, P. Ladefoged, P. Trudgill, C. Gussenhoven, 服部四郎, 今井邦彦, 耕矢好弘, 竹林滋, 城生伯太郎氏等の名前を列挙するに止めておきます。

科学研究費で揃えたSound Scope IIを中心とする音声分析装置が、直接役立ったことも言及しておきます。

1–8章と22–24章、母音図は、田端が担当し、9–21章及び音声器官と子音表は、村田が担当しました。旧版の完成までには当時編集部の猪股彩子氏に、また、今回の新版作成にあたり、同じく編集部の陣内彩氏に大変お世話になりました。深く感謝致します。

2004年 村田忠男
田端敏幸

CONTENTS

1 イのグループ [i:, i]	6
2 エのグループ [e, ei, eə]	8
3 アのグループ(1) [æ, ʌ]	10
4 アのグループ(2) [ai, au]	12
5 アのグループ(3) [ɑ, ɒ, ɑ:, ɑːr]	14
6 オのグループ [ɔ, ɒ:, ɔ:, ɔɪ, ou, əʊ]	16
7 ウのグループ [u:, u]	18
8 弱母音 [ə, ɪ]	20
9 破裂音 [p, b]	22
10 破裂音 [t, d]	24
11 破裂音 [k, g]	26
12 摩擦音 [f, v]	28
13 摩擦音 [θ, ð]	30
14 摩擦音 [s, z]	32
15 摩擦音 [ʃ, ʒ]	34
16 破擦音 [tʃ, dʒ]	36
17 破擦音 [ts, dz]	38
18 鼻音 [m, n, ŋ]	40
19 接近音 [l]	42
20 接近音 [r]	44
21 [w, j, h]	46
22 連結関連(弱化, リエゾン, 同化, 消失)	48
23 ストレス, イントネーション	50
24 リズム(機能語の弱形)	52
音声器官と子音表	54
母音図	55



1 イのグループ [i:] [i]

[i:] と [i] は単に長さだけではなく質的に異なる母音である。[i:] は唇をはっきりと横に広げ、舌を緊張させて発音する。

1 tree の [i:]

[i:] を発音している時は、舌の両側が歯にしっかりと触れて空気が中央部を通るような状態になっているはずである。息を吸い込んでみてどこが冷たく感じるかを調べてみよう。

..... tree, free, peat, leaf, dean, piece, chief

2 pig の [i]

[i] はこれに対して舌には緊張がなく、したがって口の開きもやや大きい。また唇は丸めずに横に広げるが、[i:] に比べるとかなりゆるやかな感じになる。

..... lip, bit, kick, rib, bid, big

3 sit と set [i] と [e]

英語の [i] は鈍い感じの「イ」である。日本語の「イ」と「エ」の中間あたりの音であると考えてよい。このため [i] は [e] と聞き違えられやすいので注意する。

..... lift/left, fill/fell, till/tell, pick/peck, lit/let, sit/set

4 radio [i] + 母音

母音の前の [i] はシャープになる。これは [i:] を短めにしたくらいのイメージで発音するとよい。

..... India, radio, studio, trivial, social

5 happy アメリカ英語の [i]

アメリカ英語の場合、語末の [i] (文字の y に対応することが多い) もシャープな感じに発音される。[i:] を短めにしたくらいの感じだと思えばいい。カタカナ表記の「ハッピー」などの長音記号はこのような音声状況を反映したものである。

..... happy, beauty, pity, pretty, fifty

EXERCISE

[A] 次の()の語はどちらが吹き込まれていますか。

1. (fill, feel)
2. (bit, beat)
3. (live, leave)
4. (slit, sleet)
5. (rich, reach)
6. (pill, peel)

[B] 音声を聞いて [i] が含まれている語の番号に○をつけなさい。

1. (l-ft)
2. (l-ft)
3. (f-l)
4. (sh-p)
5. (t-ll)
6. (t-ll)
7. (m-t)
8. (m-t)
9. (m-t)
10. (r-d)

[C] 音声の後について、練習してみよう。[i:] と [i] の区別を意識して発音しよう。

1. Bill, please.
2. A sheep is in the ship.
3. No mill, no meal. (諺)

2 エのグループ [e] [ei] [eə(r)]

[e] は日本語の「エ」とほぼ同じ母音である。唇は軽く広げる。単純母音「エ」に [e] を用いて二重母音の [ei] と区別する場合もあるが、ここでは [e] を用いて両方を表わす。

1 egg の [e]

英語では短母音の [e] が語末にくることはない。そのため、例えば、Kobe (神戸) のようなローマ字表記は [koubei] か [koubi:] と読まれるのが普通。「酒」sakeの発音も、したがって、[saki] か [sakei] である。

..... step, bet, neck, ebb, bed, egg
..... cf. Kobe, Hakodate, Chile, sake

2 break の [ei] air の [eə]

二重母音 [ei] [eə(r)] は [e] の位置から [i] [ə] の方向へ舌を移動させて発音する。二つの母音からできてはいてもリズム単位としては一つである。開始部に緊張感をもたせることが大切。[e] に十分な持続時間を与えて発音するとよい。[r] の部分はイギリス英語では発音されない(22章参照)。

..... great, steak, break, pair, care, there, air, chair, spare

3 オーストラリアの [ei]

なおオーストラリアの英語は二重母音 [ei] の開始部が [æ] の付近にまで下がるので「アイ」のように聞こえる。次の例は “My Fair Lady” に出てくるあまりにも有名な台詞。舌をあまり持ち上げないで [ei] を発音すれば限りなく [ai] に近くなることを確認しておこう。

..... The rain in Spain stays mainly in the plain.

EXERCISE

[A] 次の()の語はどちらが吹き込まれていますか.

1. (dead, did)
2. (pain, pen)
3. (lesson, listen)
4. (fess, face)
5. (sprayed, spread)
6. (left, lift)
7. (steak, stick)
8. (bell, bail)
9. (grape, grip)
10. (stead, stayed)

[B] 音声を聞いて下線部に適切な文字を入れなさい.

1. (pl te)
2. (h th)
3. (sw t)
4. (b t)
5. (d f)
6. (b d)
7. (sp re)
8. (w ve)
9. (h te)
10. (g st)